

第14号（2014年9月15日）
発行：「広島大学マスターズ広島」事務局

【目次】

1. 平成26年度（第5回）総会・懇親会の開催状況について
2. 「広島大学マスターズ（東広島）の平成26年度総会・懇親会に出席して」 事務局幹事 松水征夫
3. 第8回広島大学ホームカミングデーについて
4. 広島大学古本募金について
5. 会員異動について

1. 平成26年度総会・懇親会の開催状況について

本会の第5回総会及び懇親会が次のとおり開催されました。

日時：平成26年8月30日（土）16：00－18：00

場所：ホテルグランヴィア広島 21Fスカイバンケット「曙光」

出席者：正会員（18名）、協力会員（3名）、学長、参与（1名）、計22名

【第5回総会】

議題：（1）議長の選出、（2）会員の状況報告、（3）役員の異動、（4）平成25年度事業報告、（5）平成25年度決算書、（6）会計監査報告、（7）平成26年度事業計画（案）、（8）平成26年度予算書（案）、（9）会則の改正

第4回総会の議事録に関しましては、本会のホームページ（<http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters2/>）をご覧ください。



総会の開会挨拶中の植木代表幹事



総会会場風景

【懇親会】

次第：（1）開会挨拶、（2）顧問挨拶、（3）乾杯音頭、（4）懇談、（5）広島大学マスターズ幹事の挨拶、（6）新入会員の紹介、（7）協力会員の挨拶、（8）閉会挨拶

〔代表幹事の植木研介先生の総会での開会挨拶〕

先日の広島市の土砂災害では大きな被害となりましたが、被災者の皆さんにはお見舞い申し上げます。本会の会員からは特に被害を受けたとのご連絡はいただいていませんが、お知り合いの方が被災されたという方もおありかと思います。本日は皆さんのお元気な顔を拝見することが出来うれしく思います。

本日は、本会顧問の広島大学の浅原学長にもご出席いただいていますこと、厚く御礼申し上げます。また東広島市の「広島大学マスターズ」の初代代表幹事の金田先生には、本会の参与も務めていただいていますことが、本日はご出席いただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで本会の活動も、会員の皆様のご協力により年々活発になってきていますこと、感謝申し上げます。

ご審議いただく議題も多くなっていますので、早速に総会の審議を始めていただきたいと思います。

〔広島大学の浅原学長の懇親会での挨拶〕



先日の広島市の土砂災害に対して、広島大学では医療チームを派遣するとともに、学生諸君がボランティア活動で活躍してくれています。広島大学は、地元唯一の国立大学として、可能な限り被災地の支援に参加し、さらには今後必要とされる復興への対応に際しては、広島県や広島市等の指導の下に連携して取り組み、国立大学としての使命を果たすよう努めてまいります。3. 11の震災の経験で、被災者には「心のケア」も必要ということが分かっており、DMAT（災害時派遣医療チーム）と一緒に長期的な支援体制を組みたいと考えています。広島大学の学長に就任以来、私は広島大学のネットワーク作りのため、同窓会等の集まりに積極的に参加して参りました。今後の国際化に向けて、海外の同窓会組織とも連携して活動を拡大していきたいと

考えています。大学の果たす役割が大きくなっていますので、広島大学の発展のために、「広島大学マスターズ広島」の皆さんには、今後とも積極的なご支援をお願いしたいと思います

〔広島大学マスターズ幹事の金田晋先生の懇親会での挨拶〕

東広島のマスターズは、広島のマスターズより4年先輩ですが、東広島のマスターズの会員が現在70名程度で、広島のマスターズが120名程度ということで、「兄貴は小さく、弟は大きく成長」という状況になっています。東広島のマスターズの最近の活動状況について、少しお話しさせていただきます。

東広島市の「広島大学マスターズ」は、東広島市の文化度の向上、広島大学の応援、東広島市在住の広大OBの交流の場の提供を目的に発足しましたが、2週間前に広大マスターズが開講している市民講座の参加者約60名が横の連絡のために、「広大マスターズ友の会」が設立されました。「広大マスターズ友の会」の期待に応えるためにも、われわれマスターズの会員は一層頑張りたいと思います。

東広島のマスターズも会員を増やす努力を続けていますが、その際に入会のメリットをよく聞かれます。メリットの一つを紹介します。広島大学の図書館での複写サービスは、退職すると科研費の受託者でないといえないのですが、マスターズの会員であることを伝え、図書館で複写をお願いすることが出来ます。マスターズの平和科目や留学生担当科目や市民講座などの活動を認めていただいていることの証しだと思っています。

浅原学長は、留学生を増やそうと努力されていますが、これまで中国・台湾の留学生を対象として開講されていた日本語・日本文化特別研修に加えて、今年からアジア非漢字圏クラスが加わり、広大マスターズからは、渡部代表幹事が「日本の伝統スポーツと礼—武術から武道へ（剣道の演技あり）—」、私が「日本の絵画—絵巻物の世界（鳥獣戯画甲巻を見る）」の講義を担当しました。講義は日本語で行ないましたが、学生は自国の大学で日本語を学習していて、語学力の差はあるようですが、授業についてこれないという様子ではありませんでした。日本への留学生の増加に繋がることを期待したいと思います。留学生の特別研修の一層の充実のために、マスターズも応援したいと思います。

2. 広島大学マスターズ（東広島）の平成26年度総会・懇親会に出席して

「広島大学マスターズ広島」事務局幹事 松水征夫

東広島市の「広島大学マスターズ」の平成26年度総会・懇親会が下記のとおり開催されました。私は、「広島大学マスターズ」からお招きいただきましたので、今回来賓として出席させていただきました。

日時：平成26年6月7日（土）16：00－19：30

場所：泉ホール（賀茂泉館4階）

総会次第：

（1）代表幹事挨拶

渡部和彦代表幹事

（2）顧問挨拶

広島大学長（浅原利正先生）

東広島市長（蔵田義雄市長）

（３）来賓挨拶

「広島大学マスターズ広島」事務局幹事（松水征夫）

（４）協議事項

- ①平成２５年度事業報告
- ②平成２５年度決算報告
- ③会計監査報告
- ④平成２６年度事業計画
- ⑤平成２６年度予算案
- ⑥規約改正
- ⑦役員改選

懇親会次第：

（１）代表幹事挨拶

渡部和彦代表幹事

（２）来賓挨拶

東広島市教育委員会生涯学習部長（大河 淳部長）

（３）乾杯の音頭

西条酒造協会会長（前垣寿男社長）

【総会の開催状況】



渡部代表幹事は総会の開会挨拶で、「広島大学マスターズは２００６年１２月に発足し、今年で９年目になり、そろそろ１０周年記念行事を考えなければいけないところまで来ました。この間われわれは、地域貢献活動として東広島市での市民講座や出前講座、大学との連携で広島大学の教養教育の平和科目、留学生への予備教育などに協力してきました。さらに会員との交流を続け、だんだん広大マスターズの形が出来てきました。しかしまだ大学と地域、東広島市の市民との連携を深めていく必要があると思います。東広島市が市制４０周年を迎えられる中で、われわれマスターズも大学と地域の結びつきを強固にするための活動を活発に行っていきたいと思います。」と述べられました。

〔総会での広島大学の浅原学長の挨拶〕



広島大学の浅原学長は顧問としての挨拶で、「私は、地域と結び付いた大学の教育研究活動、社会連携について関心を持って大学の運営を続けてきたつもりですが、１０年前に国立大学が法人化して以降、急速に地域とのつながりを教職員だけでなく、学生も意識してくれるようになりました。若者の意識として、社会で役に立ちたいという希望を持つ人も多くなっていますので、彼らの力を借りて高齢化の進む日本の社会を支えていかないといけないのではないかと思います。広大マスターズは、もともとは東広島市の市民講座などを担当されることで始まったようですが、最近は広島大学の学生の授業や留学生に授業でも大変お世話になっており、教員のプロであるマスターズの先生方に、私も大変期待しています。今後、広島大学は研究大学と

して大学院生を増やすことを考えていますが、教員と人件費は削減される中で厳しい状況にありますので、先輩方のお力添えを引き続きよろしくお願いします。」と述べられました。

〔総会での東広島市の蔵田市長の挨拶〕

東広島市の蔵田市長は顧問としての挨拶で、「広大マスターズの先生方には、東広島のような市民講座、出前講



座などで、生涯学習の町づくりのお世話をさせていただいています。振り返ってみますと、今年は市制施行40周年ということで、5月18日に40周年記念事業をさせていただきました。40年前を振り返ってみますと、広島大学の統合移転ということで、東広島市も広島大学の統合移転をしっかりと受け止めようということで、4町が合併し、東広島市が誕生しました。その当時、大学移転に加えて、国の方からテクノポリスの指定をいただき、東広島市も賀茂学園都市の構想を立て、先人たちの思いをしっかりと受け止めて現在の東広島市になっています。広島県の真ん中に位置する東広島市の重要性に鑑み、今後の東広島市の進むべき方向を市民の皆さんにしっかりと示しながら、町づくりをしていきたいと思っています。皆様方にも今後ともそれぞれの

立場でお力を賜りますようにお願いします。」と述べられました。

〔広島大学マスターズ広島の総務・広報担当幹事の松水の挨拶〕

来賓として挨拶を求められた私は、「私自身は、東広島のマスターズが9年前に発足するときには現役の教員でしたので、協力会員として参加に加わらせていただきました。現在、マスターズは、広島と東広島の会員を合わせると200名近い会員がおられますが、広島地区で200名の研究者を擁する組織は一大シンクタンクに匹敵するのではないかと思います。広島大学の方から広島市の東千田キャンパスに知的人材育成センターを平成28年度から立ち上げられるとのことで、先般同センターにおける教育研究プロジェクト事業の公募が行われ、広島と東広島のマスターズが共同で「広島大学マスターズ社会連携講座」という構想を作成し応募をしましたところ、幸いにして採択して頂きました。われわれマスターズは、広島と東広島は組織は別ですが、一緒に活動していくことになればと思います。」と述べさせていただきました。

【懇親会の開催状況】



懇親会の開会の挨拶で渡部代表幹事は、「広島大学マスターズは、地域と連携するため、公開講座を開講させていただいていますが、参加者を集めるのが大変ということで、今まで公開講座に来ていただいた方に「広島大学マスターズ友の会」という組織を作っていただき、いわゆるマスターズのファン・クラブに入会していただくことにしました。現在65名の方に入会していただいています。ファン・クラブというのは、ファンが作られるもので、われわれが作るのとはおかしいのですが、ファンの方々と密接なつながりを持って行きたいと考えています。」と新たな試みを披露されました。

東広島市教育委員会生涯学習部の大河部長は、「広大マスターズは、全国的にも珍しい地域貢献集団として、東広島市の市民の学習に多大の貢献をさせていただいています。市民講座や出前講座といった質の高い学習機会が与えられていますことは、市民にとって大変喜ばしいことで、われわれ行政にとっても大変感謝申し上げるところです。こうした皆様の活動に対して、市民の期待が大きくなってまいりますので、今後も一層ご活躍いただきまして、東広島市を盛り上げていただくようにお願いします。」と述べられました。

3. 第8回広島大学ホームカミングデーについて

第8回ホームカミングデーが、次のとおり開催されます。会員の皆様には、ご家族とともに奮ってご参加ください。

日時：平成26年11月1日（土）

場所：広島大学東広島キャンパス（霞キャンパスのホームカミングデーは11月8日（土）です。）

主なプログラム：

10:30-10:55 オープニングセレモニー（サタケメモリアルホール）

11:00-12:30 文化講演会（サタケメモリアルホール）

講師：野口 健（アルピニスト）

演題：「生きる」

13:30-15:30 学部・研究科企画等（開催時間に差異がありますので、詳細は開催案内をご覧ください）

16:00-17:30 懇親会（学生会館レセプションホール）

4. 広島大学古本募金について

広島大学古本募金は、広島大学の在学生・卒業生・保護者の方・教職員や一般の方などで、趣旨に賛同いただける方々から不要になった書籍（DVD・CDを含む）等をご提供いただき、提供会社による売却代金を寄付金として「広島大学基金」にご寄付いただき、フェニックス奨学事業や海外研修事業など、広島大学の学生支援事業に活用するという取り組みです。詳しくは、次の広島大学基金事務局にお問い合わせいただくか、広島大学古本募金サイトをご覧ください。

（広島大学基金事務局）

東広島市鏡山1丁目7-1 学生プラザ2階

TEL: 082-424-6132 FAX: 082-424-6989

E-mail: kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

（広島大学古本募金サイト）

<http://furuhon-bookin.jp/hiroshima-u/>

5. 会員異動について

【新入会員】

○三枝省三（工学部、産学・地域連携センター）

○廣川 健（工学部）

○池神 勝（事務部）

【退会】

○溝上五十鈴（医学部附属病院） 体調不良等のため

【訃報】

○比砂生朗（事務部） ご冥福をお祈りします。

広島大学マスタース広島事務局

〒730-0053

広島市中区東千田町一丁目1番89号

広島大学東千田地区支援室気付

（FAX）082-542-6964

（E-mail）masters2@hiroshima-u.ac.jp